

政策コメンテーター報告（第 3 回）

テーマ：経済再生と両立する財政健全化について

安倍内閣は、デフレ脱却を確かなものとするため、2015 年 10 月に予定されていた消費税率 10%の引き上げを 18 か月延期し、2017 年 4 月から実施することを決定しました。そして景気回復を全国津々浦々にまで届けることによって、経済再生と財政再建、社会保障改革の三つを、同時に達成していくことを目指しています。2020 年度の財政健全化目標についても堅持し、夏までに、その達成に向けた具体的な計画を策定することとしています。

経済財政諮問会議においては、経済再生と財政健全化の双方の実現に向けて、昨年 12 月 27 日に甘利経済財政政策担当大臣より示された検討課題（別紙 1 参照）に沿って、議論を進めております（別紙 2 参照）。また、3 月 11 日の経済財政諮問会議においては、国・地方の公共サービス分野での民間との連携（インクルージョン）を進め、サービスの多様化、質の向上とともに、新たな民間産業の創造や民間雇用拡大を通じた経済成長を実現し、税収拡大を図り、さらには歳出効率化とあわせて実現することで経済再生と財政健全化の両立を図ることが重要であるとの提言が民間議員よりもなされ、議論がなされました（別紙 3 参照）。

そこで、以下について伺います。

（質問 1）

これらの議論を受けて、以下の二つの取組について、先進的な取組事例や具体的な取組のご提案がございましたら 500 字以内でご記入ください。

①公的サービスの質の向上と歳出効率化に向けた、国民・企業・自治体等の自発的な取組を促すようなインセンティブ改革

②これまで行政が担ってきた公的分野について民間の多様な主体との連携を促進することにより、その創意工夫と民間資金の活用を図る「公的部門の産業化」

（例）※別紙 3 もご参照ください

- ①について：健康ポイントの活用による自己の積極的な健康管理促進
先進自治体の取組を他の自治体が導入する際のインセンティブ作り 等
- ②について：予防や重症化の防止を進め、健康長寿分野での潜在需要を顕在化
公的施設運営の P P P / P F I 活用 等

500 字以内で回答してください。目安としては、15 行程度となっております。

（質問 2）

2020 年度の財政健全化目標を堅持することとしておりますが、その道筋についてご意見がございましたら 500 字以内でご記入ください。（別紙 4 参照）

平成 27 年 4 月 1 日
政策コメンテーター委員会

500 字以内で回答してください。目安としては、15 行程度となっております。

以 上

氏名（こちらに氏名をご記入下さい。 ）